

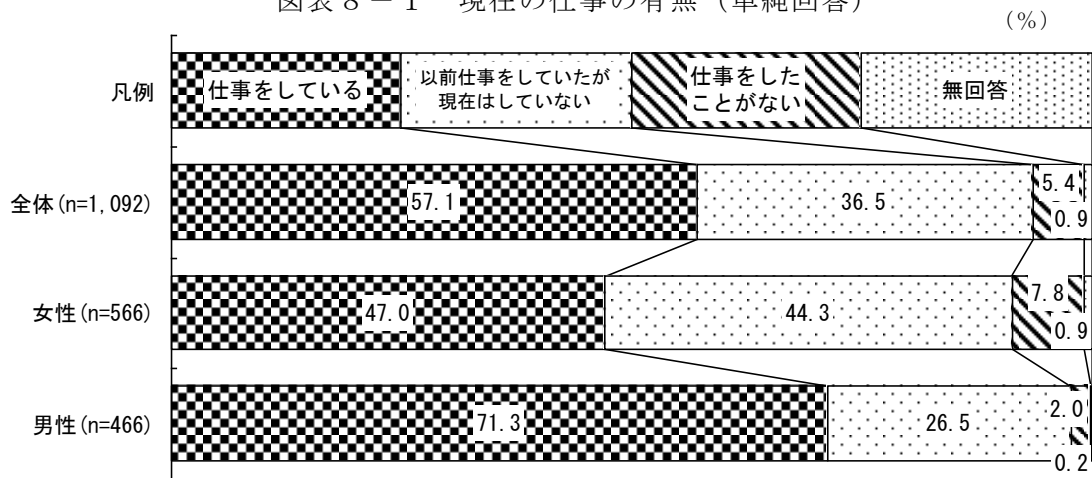
第Ⅷ章 就労状況等について

1. 現在の仕事の有無（問 55）

現在の仕事の有無についてみると、「仕事をしている」が過半数を超えており（57.1%）、「以前仕事をしてきたが現在はしていない」は 36.5%、「仕事をしたことがない」は 5.4%となっている。

性別では、「仕事をしている」は「女性」が 47.0%であるのに対し、「男性」は 71.3%を占める。一方、「以前仕事をしてきたが現在はしていない」は「女性」が 44.3%であるのに対し、「男性」は 26.5%となっている。

図表 8 - 1 現在の仕事の有無（単純回答）



また、性・年齢別では、「女性」は「30歳未満」「40歳代」及び「50歳代」で 60%を越えているが、「30歳代」で 54.5%と 60%を下回っている。一方、男性は「30歳代」「40歳代」及び「50歳代」で 90%を越えている。

さらに、居住地域別では、「豊津・江坂・南吹田地域」、「千里山・佐井寺地域」が 60%を越えている。配偶者の有無別では、配偶者「無」の方が、やや高くなっており、子どもの有無別では、子どもが「いない」方が、やや高くなっている。

図表 8-2 現在の仕事の有無

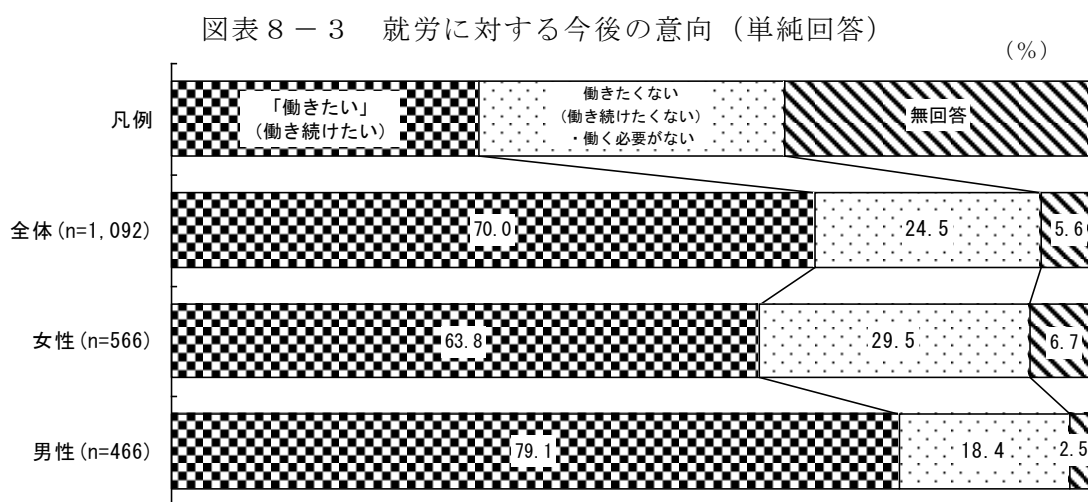
(性・年齢別、居住地域別、居住年数別、配偶者の有無別、子どもの有無別) (%)

		件数	いる 仕事をして	いない 現在はいはした 以前は仕事を してが	仕事を した ことが ない	無 回 答
全 体		1,092	57.1	36.5	5.4	0.9
性・年齢別	女性全体	566	47.0	44.3	7.8	0.9
	女性30歳未満	53	60.4	37.7	1.9	0.0
	女性30歳代	99	54.5	44.4	1.0	0.0
	女性40歳代	104	67.3	31.7	1.0	0.0
	女性50歳代	90	63.3	27.8	8.9	0.0
	女性60歳代	116	31.9	56.0	10.3	1.7
	女性70歳以上	93	7.5	67.7	22.6	2.2
	男性全体	446	71.3	26.5	2.0	0.2
	男性30歳未満	38	71.1	21.1	7.9	0.0
	男性30歳代	67	95.5	4.5	0.0	0.0
	男性40歳代	97	99.0	1.0	0.0	0.0
	男性50歳代	67	92.5	7.5	0.0	0.0
	男性60歳代	98	56.1	42.9	1.0	0.0
男性70歳以上	77	15.6	76.6	6.5	1.3	
居住地域別	J R以南	106	48.1	44.3	5.7	1.9
	片山・岸部	155	57.4	39.4	2.6	0.6
	豊津・江坂・南吹田	175	68.0	28.6	2.9	0.6
	千里山・佐井寺	186	62.9	33.9	2.7	0.5
	山田・千里丘	253	56.5	36.4	6.7	0.4
	千里N T・万博・阪大	203	47.3	40.9	10.3	1.5
居住年数別	1年未満	38	55.3	42.1	2.6	0.0
	1～5年未満	115	61.7	34.8	3.5	0.0
	5～10年未満	119	64.7	31.1	4.2	0.0
	10～20年未満	187	70.6	21.9	5.9	1.6
	20～30年未満	169	59.2	34.9	3.6	2.4
	30～40年未満	215	54.0	40.5	5.1	0.5
	40～50年未満	144	41.0	47.9	11.1	0.0
	50年以上	94	42.6	51.1	5.3	1.1
配偶者の有無別	有	746	56.6	37.8	5.2	0.4
	無	208	61.1	33.7	4.3	1.0
子どもの有無別	いる	739	56.2	38.3	5.3	0.3
	いない	309	66.0	29.8	4.2	0.0

2. 就労に対する今後の意向（問 56）

就労に対する今後の意向についてみると、「働きたい（働き続けたい）」が 70.0%を占めており、「働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない」は 24.5%となっている。

性別では、「働きたい（働き続けたい）」は「女性」が 63.8%であるのに対し、「男性」は 79.1%を占めており、「男性」の方が高くなっている。



性・年齢別では、「女性」は「30歳未満」「30歳代」「40歳代」の各年齢層で「働きたい（働き続けたい）」が 80%を超えており、「50歳代」も 74.4%となっている。「男性」は、「30歳未満」「30歳代」「40歳代」及び「50歳代」の各年齢層とも「働きたい（働き続けたい）」が概ね 90%台を占めている。

居住地域別では、「働きたい（働き続けたい）」は「豊津・江坂・南吹田地域」「千里山・佐井寺地域」及び「山田・千里丘地域」が 70%を超えている。また、配偶者の有無別では、配偶者の有無に関わらず「働きたい（働き続けたい）」が 70%を超えているが、子どもの有無別では、子どもが「いる」が 68.7%であるのに対し、「いない」は 79.9%と 80%近くを占めており、「いない」が、やや高くなっている。

図表 8-4 就労に対する今後の意向

(性・年齢別、居住地域別、居住年数別、配偶者の有無別、子どもの有無別) (%)

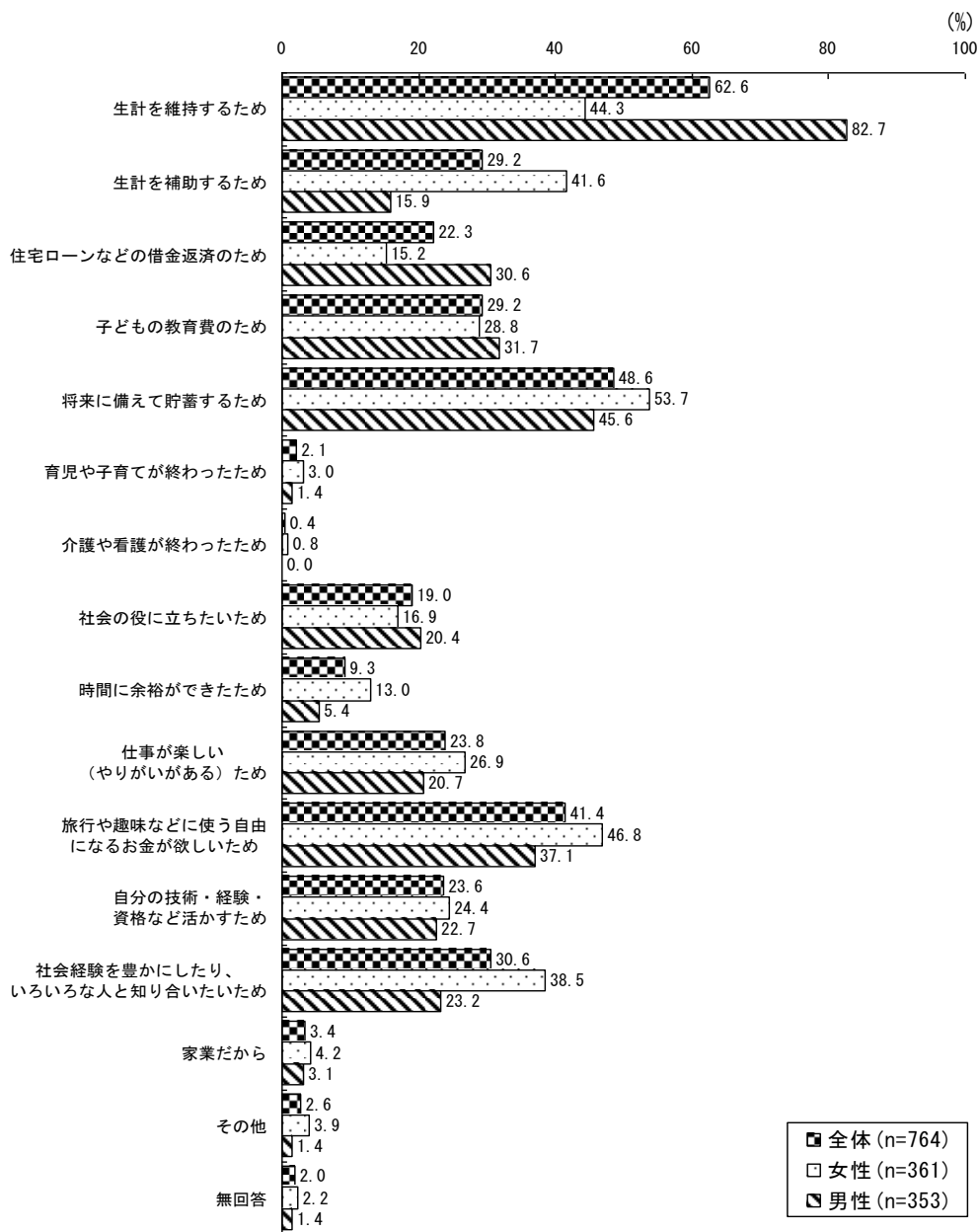
		件数	た(働きた い働きた)ききた 続い け	必(働きた い働きた)た(働きた)く働きた が・働きた な働きた いく続な	無 回 答
全 体		1,092	70.0	24.5	5.6
性・年齢別	女性全体	566	63.8	29.5	6.7
	女性30歳未満	53	83.0	15.1	1.9
	女性30歳代	99	84.8	15.2	0.0
	女性40歳代	104	86.5	11.5	1.9
	女性50歳代	90	74.4	23.3	2.2
	女性60歳代	116	44.0	44.8	11.2
	女性70歳以上	93	17.2	62.4	20.4
	男性全体	446	79.1	18.4	2.5
	男性30歳未満	38	89.5	10.5	0.0
	男性30歳代	67	98.5	0.0	1.5
	男性40歳代	97	96.9	3.1	0.0
	男性50歳代	67	98.5	1.5	0.0
	男性60歳代	98	62.2	35.7	2.0
	男性70歳以上	77	39.0	50.6	10.4
居住地域別	J R以南	106	62.3	28.3	9.4
	片山・岸部	155	65.2	25.2	9.7
	豊津・江坂・南吹田	175	76.6	20.0	3.4
	千里山・佐井寺	186	78.5	19.9	1.6
	山田・千里丘	253	70.8	26.1	3.2
	千里NT・万博・阪大	203	63.5	28.6	7.9
居住年数別	1年未満	38	94.7	2.6	2.6
	1～5年未満	115	87.0	13.0	0.0
	5～10年未満	119	77.3	20.2	2.5
	10～20年未満	187	81.3	13.9	4.8
	20～30年未満	169	73.4	21.3	5.3
	30～40年未満	215	63.3	31.6	5.1
	40～50年未満	144	52.1	38.2	9.7
	50年以上	94	44.7	43.6	11.7
配偶者の有無別	有	746	70.0	26.0	4.0
	無	208	73.6	19.7	6.7
子どもの有無別	いる	739	68.7	27.1	4.2
	いない	309	79.9	17.5	2.6

3. 働きたい（働き続けたい）理由（問 57）

就労に対する今後の意向において「働きたい（働き続けたい）」を選択した回答者を対象に働きたい（働き続けたい）理由についてみると、「生計を維持するため」が62.6%を占めており、最多である。次いで、「将来に備えて貯蓄するため」（48.6%）、「旅行や趣味などに使う自由になるお金が欲しいため」（41.4%）の順となっている。

性別では、「男性」は「生計を維持するため」が82.7%であり、他の選択肢に比べて高くなっている。一方、「女性」は「将来に備えて貯蓄するため」（53.7%）、「旅行や趣味などに使う自由になるお金が欲しいため」（46.8%）の順であり、性別による差異がみられる。

図表 8 - 5 働きたい（働き続けたい）理由（複数回答／いくつでも）

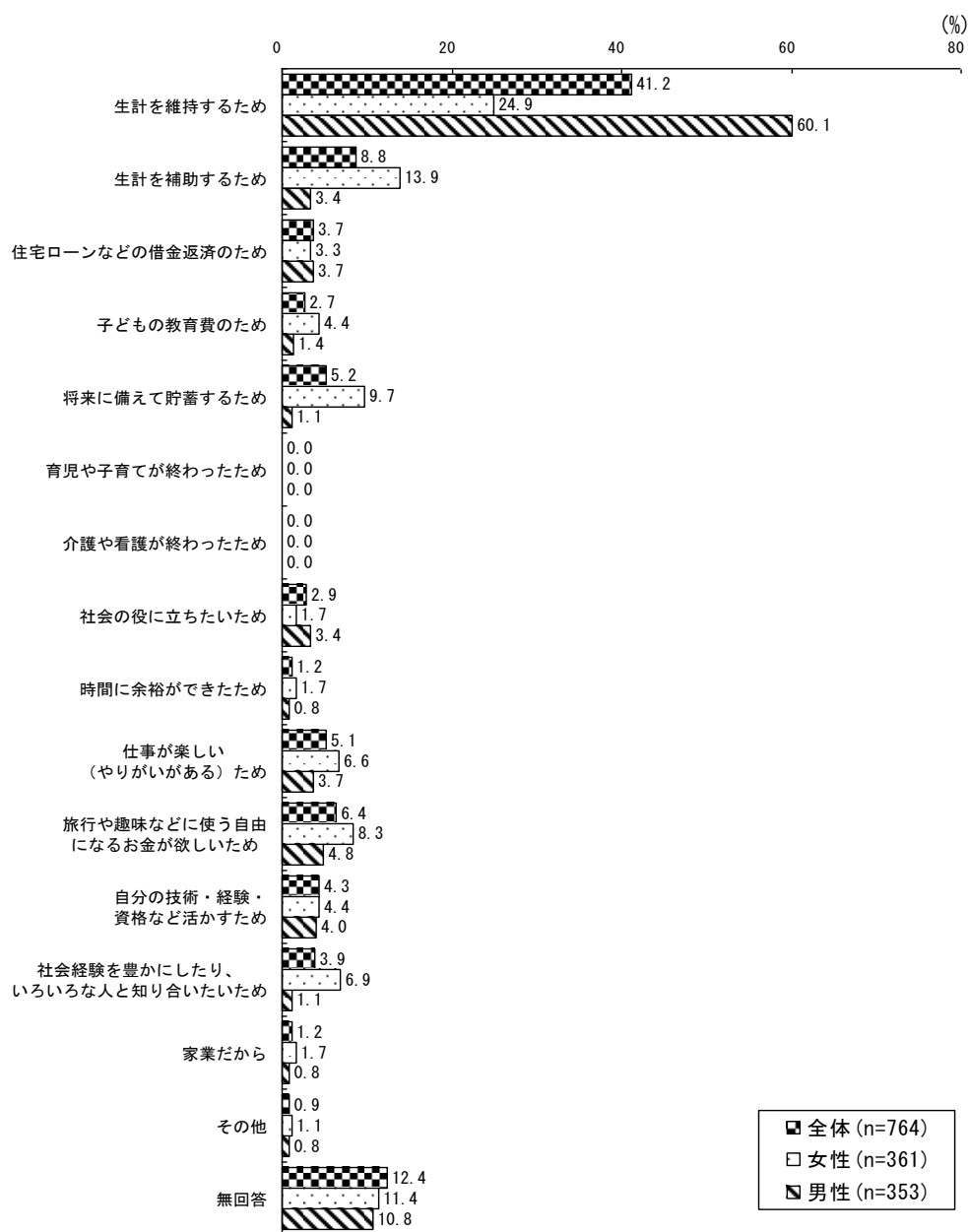


※問 56 で「働きたい（働き続けたい）」を選択した回答者のみ

「働きたい（働き続けたい）」もっともあてはまる理由についてみると、「生計を維持するため」が一番多く、41.2%である。性別では、「女性」は 24.9%、「男性」は 60.1%であり、男女による差異がみられる。

性・年齢別にみると、「男性」は 70 歳以上を除く各年齢層で「生計を維持するため」が他の選択肢と比較して高くなっているのに対し、「女性」は 70 歳以上を除く各年齢層で「旅行や趣味などに使う自由になるお金が欲しいため」、「将来に備えて貯蓄するため」を中心に分散しており、性別による差異がみられる。また、これら 2 項目については、配偶者の有無別では「無」が「有」より、子どもの有無別には子どもが「いない」が「いる」より高くなっている。

図表 8-6 働きたい（働き続けたい）理由（もっともあてはまる理由／単純回答）



※問 56 で「働きたい（働き続けたい）」を選択した回答者のみ

図表 8-7 働きたい(働き続けたい)理由

(性・年齢別、配偶者の有無別、子どもの有無別)

(%)

		件数	生計を維持するため	生計を補助するため	住宅ローンなどの借金返済のため	子どもの教育費のため	将来に備えて貯蓄するため	育児や子育てが終わったため	介護や看護が終わったため	社会の役に立ちたいため	時間に余裕ができたため	仕事が楽しい(やりがいがある)ため	旅行や趣味などに使う自由になるお金が欲しいため	自分の技術・経験・資格など活かすため	社会経験を豊かにしたり、いろいろな人と知り合いたいため	家業だから	その他
全 体		764	62.6	29.2	22.3	29.2	48.6	2.1	0.4	19.0	9.3	23.8	41.4	23.6	30.6	3.4	2.6
性・ 年齢別	女性全体	361	44.3	41.6	15.2	28.8	53.7	3.0	0.8	16.9	13.0	26.9	46.8	24.4	38.5	4.2	3.9
	女性30歳未満	44	54.5	31.8	6.8	22.7	68.2	2.3	0.0	4.5	6.8	18.2	63.6	25.0	25.0	2.3	2.3
	女性30歳代	84	48.8	46.4	21.4	42.9	69.0	2.4	0.0	19.0	10.7	29.8	65.5	27.4	53.6	2.4	3.6
	女性40歳代	90	44.4	44.4	20.0	56.7	62.2	1.1	1.1	22.2	17.8	25.6	36.7	25.6	35.6	3.3	2.2
	女性50歳代	67	34.3	46.3	17.9	9.0	50.7	10.4	3.0	22.4	17.9	28.4	41.8	26.9	46.3	6.0	4.5
	女性60歳代	51	33.3	35.3	7.8	0.0	21.6	0.0	0.0	7.8	9.8	27.5	41.2	13.7	23.5	5.9	2.0
	女性70歳以上	16	56.3	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0	12.5	31.3	12.5	25.0	37.5	12.5	18.8
	男性全体	353	82.7	15.9	30.6	31.7	45.6	1.4	0.0	20.4	5.4	20.7	37.1	22.7	23.2	3.1	1.4
	男性30歳未満	34	76.5	11.8	8.8	14.7	52.9	0.0	0.0	8.8	8.8	26.5	58.8	32.4	26.5	0.0	0.0
	男性30歳代	66	98.5	6.1	39.4	47.0	50.0	0.0	0.0	18.2	0.0	21.2	37.9	25.8	28.8	3.0	0.0
	男性40歳代	94	98.9	7.4	50.0	60.6	68.1	0.0	0.0	27.7	0.0	19.1	35.1	22.3	21.3	1.1	0.0
	男性50歳代	66	90.9	13.6	28.8	24.2	39.4	4.5	0.0	16.7	3.0	18.2	36.4	13.6	24.2	1.5	0.0
	男性60歳代	61	65.6	37.7	16.4	3.3	27.9	3.3	0.0	19.7	14.8	18.0	31.1	23.0	19.7	4.9	6.6
男性70歳以上	30	20.0	30.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	16.7	26.7	30.0	26.7	16.7	13.3	3.3	
配偶者の 有無別	有	522	58.4	32.8	27.0	39.1	49.0	2.9	0.4	18.2	11.3	24.3	39.8	22.4	30.5	4.0	2.5
	無	153	74.5	19.0	11.8	4.6	52.9	0.7	0.7	20.9	5.2	18.3	49.7	26.1	31.4	2.0	3.9
子どもの 有無別	いる	508	57.7	33.5	26.2	42.5	47.2	3.0	0.4	19.7	11.2	27.4	37.8	23.2	31.7	4.7	2.4
	いない	247	72.9	19.4	15.0	2.8	52.6	0.4	0.4	17.8	5.7	17.0	50.2	25.1	28.7	0.8	3.2

※問 56 で「働きたい(働き続けたい)」を選択した回答者のみ

4. 働きたい（働き続けたい）が、現在、仕事をしていない理由（問 58）

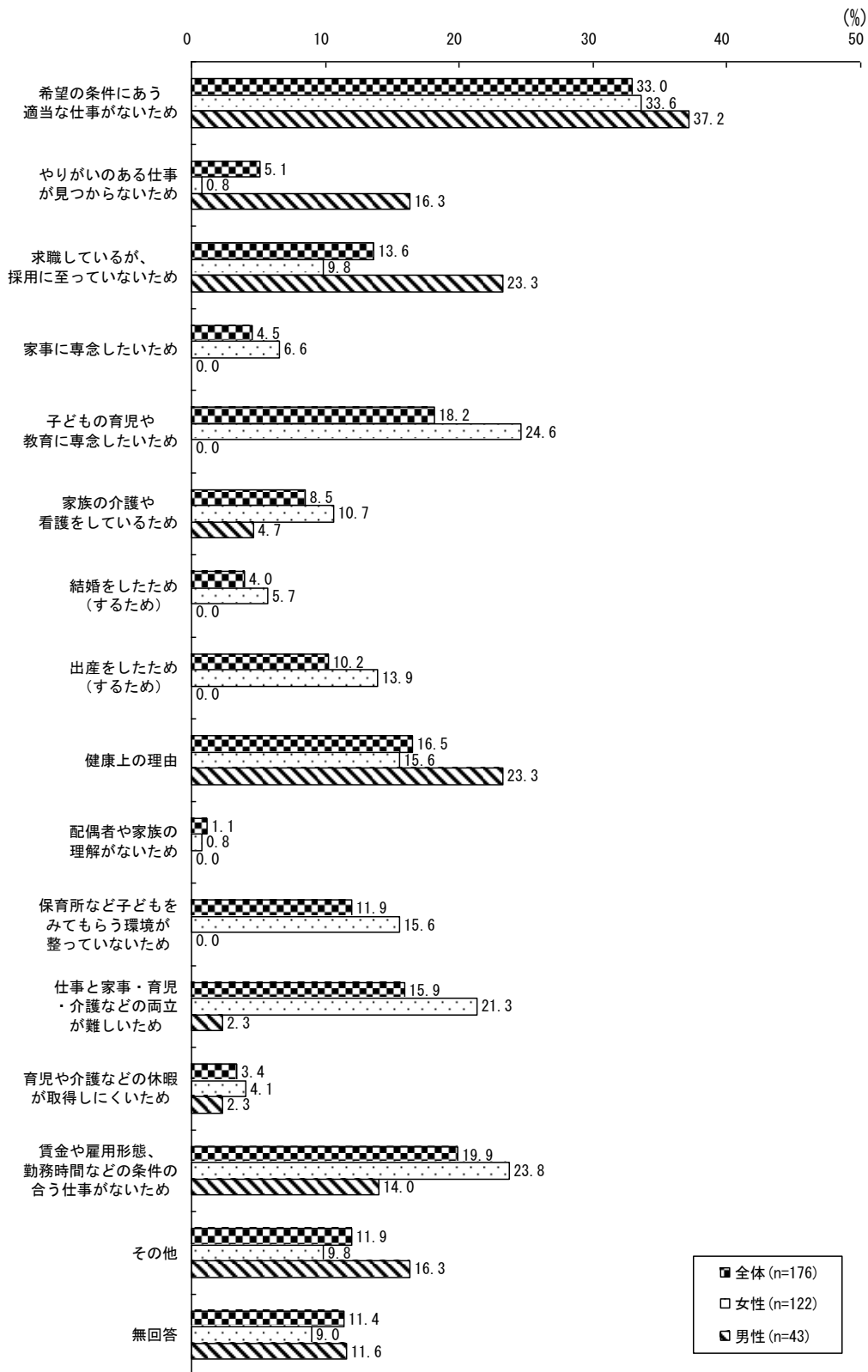
就労に対する今後の意向において「働きたい（働き続けたい）」を選択した回答者を対象に「働きたい（働き続けたい）が、仕事をしていない理由」についてみると、「希望の条件にあう適当な仕事がないため」が 33.0%となっている（「女性」33.6%、「男性」37.2%）。これに次ぐ選択肢は、「女性」は「子どもの育児や教育に専念したいため」（24.6%）、「賃金や雇用形態、勤務時間などの条件の合う仕事がないため」（23.8%）、「仕事と家事・育児・介護などの両立が難しいため」（21.3%）であるのに対し、「男性」は「求職しているが、採用に至っていないため」「健康上の理由」が 23.3%となっており、男女による差異がみられる。

もっともあてはまる理由についてみると、「女性」は「希望の条件にあう適当な仕事がないため」が一番多く、14.8%である。一方、「男性」は「希望の条件にあう適当な仕事がないため」「健康上の理由」が共に 20.9%となっている。

性・年齢別にみると、「女性」では、「子どもの育児や教育に専念したいため」が「30歳未満」33.3%、「30歳代」42.9%、「40歳代」36.0%である。また、「出産をしたため（するため）」も「30歳未満」33.3%、「30歳代」25.7%、「保育所など子どもをみてもらう環境が整っていないため」は「30歳未満」27.8%、「30歳代」34.3%など「子育て世代」の年齢層の比率が高くなっている。「希望の条件にあう適当な仕事がないため」は高年齢層で高くなっており、「50歳代」52.9%、「60歳代」47.1%となっている。

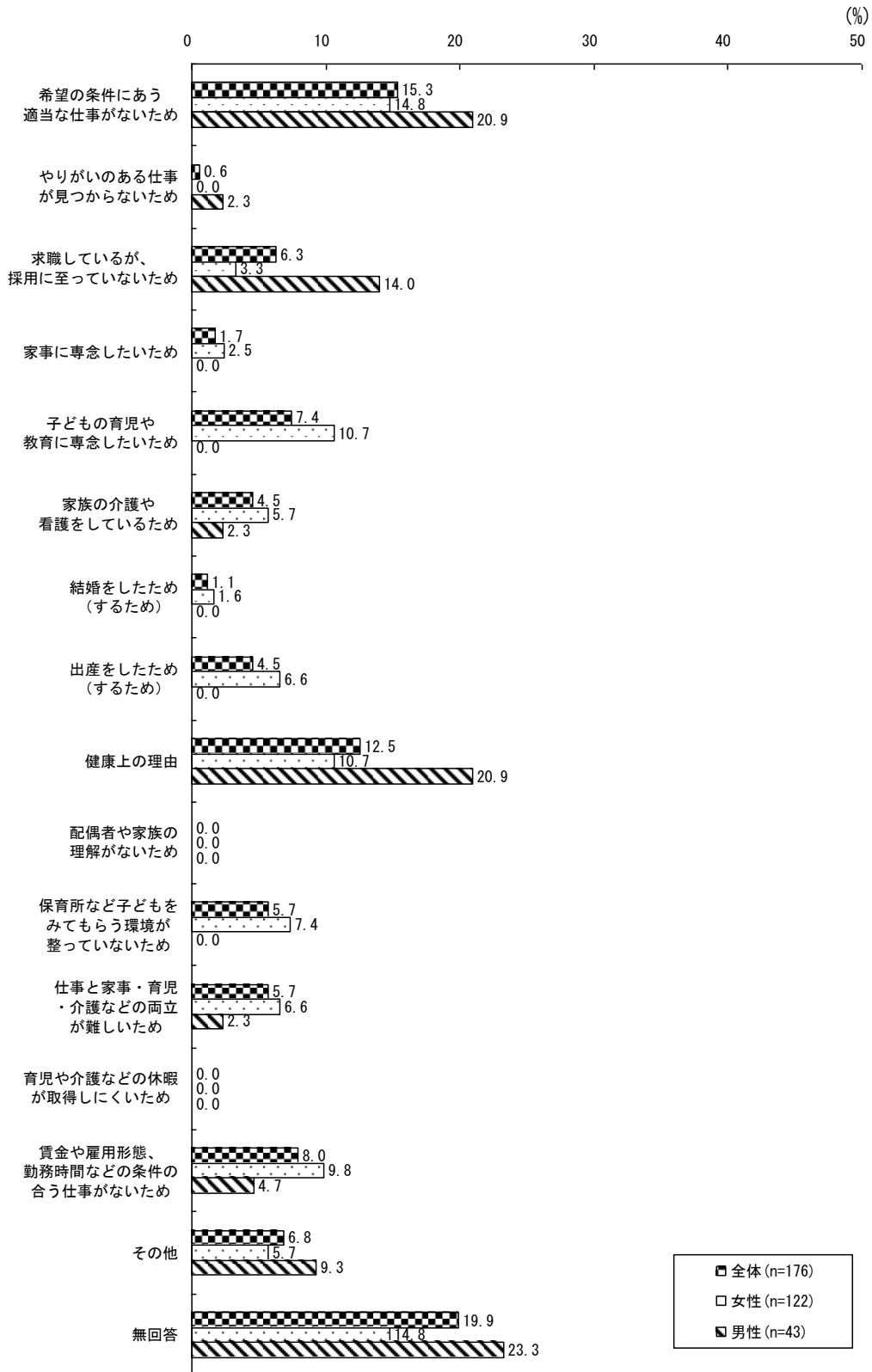
一方、「男性」では、「希望の条件にあう適当な仕事がないため」が 37.2%と一番多く（「60歳代」54.5%、「70歳以上」37.5%）、性別による差異が見られる。

図表 8-8 働きたい（働き続けたい）が、仕事をしていない理由
（複数回答／いくつでも）



※問 56 で「働きたい（働き続けたい）」を選択したが、現在仕事をしていない回答者のみ

図表 8-9 働きたい（働き続けたい）が、仕事をしていない理由
（もっともあてはまる理由／単純回答）



※問 56 で「働きたい（働き続けたい）」を選択したが、現在仕事をしていない回答者のみ

図表8-10 働きたい（働き続けたい）が、仕事をしていない理由

（性・年齢別、配偶者の有無別、子どもの有無別） （％）

		件数	希望の条件にあう適当な仕事がないため	やりがいのある仕事が見つからないため	求職しているが、採用に至っていないため	家事に専念したいため	子どもの育児や教育に専念したいため	家族の介護や看護をしているため	結婚をしたため（するため）	出産をしたため（するため）	健康上の理由	配偶者や家族の理解がないため	保育所など子どもをみてもらう環境が整っていないため	仕事と家事・育児・介護などの両立が難しいため	育児や介護などの休暇が取得しにくいいため	賃金や雇用形態、勤務時間などの条件の合 う仕事がないため	その他
全 体		176	33.0	5.1	13.6	4.5	18.2	8.5	4.0	10.2	16.5	1.1	11.9	15.9	3.4	19.9	11.9
性・ 年齢別	女性全体	122	33.6	0.8	9.8	6.6	24.6	10.7	5.7	13.9	15.6	0.8	15.6	21.3	4.1	23.8	9.8
	女性30歳未満	18	22.2	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	16.7	33.3	11.1	0.0	27.8	22.2	0.0	22.2	5.6
	女性30歳代	35	22.9	2.9	8.6	8.6	42.9	0.0	5.7	25.7	5.7	0.0	34.3	34.3	8.6	25.7	5.7
	女性40歳代	25	40.0	0.0	16.0	4.0	36.0	12.0	8.0	8.0	20.0	0.0	8.0	20.0	4.0	8.0	8.0
	女性50歳代	17	52.9	0.0	23.5	5.9	0.0	35.3	0.0	0.0	35.3	5.9	0.0	23.5	0.0	29.4	5.9
	女性60歳代	17	47.1	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	35.3	11.8
	女性70歳以上	9	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	44.4
	男性全体	43	37.2	16.3	23.3	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	23.3	0.0	0.0	2.3	2.3	14.0	16.3
	男性30歳未満	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
	男性30歳代	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性40歳代	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性50歳代	5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	男性60歳代	11	54.5	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	18.2
	男性70歳以上	16	37.5	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
配偶者の 有無別	有	121	34.7	5.0	8.3	5.8	24.0	9.1	5.0	14.0	15.7	0.8	15.7	19.8	3.3	19.8	11.6
	無	34	32.4	5.9	32.4	2.9	0.0	11.8	2.9	0.0	23.5	0.0	0.0	5.9	5.9	26.5	11.8
子どもの 有無別	いる	116	32.8	5.2	8.6	3.4	26.7	7.8	3.4	13.8	14.7	1.7	16.4	19.8	5.2	20.7	12.9
	いない	56	32.1	3.6	25.0	7.1	1.8	10.7	5.4	3.6	19.6	0.0	3.6	8.9	0.0	17.9	8.9

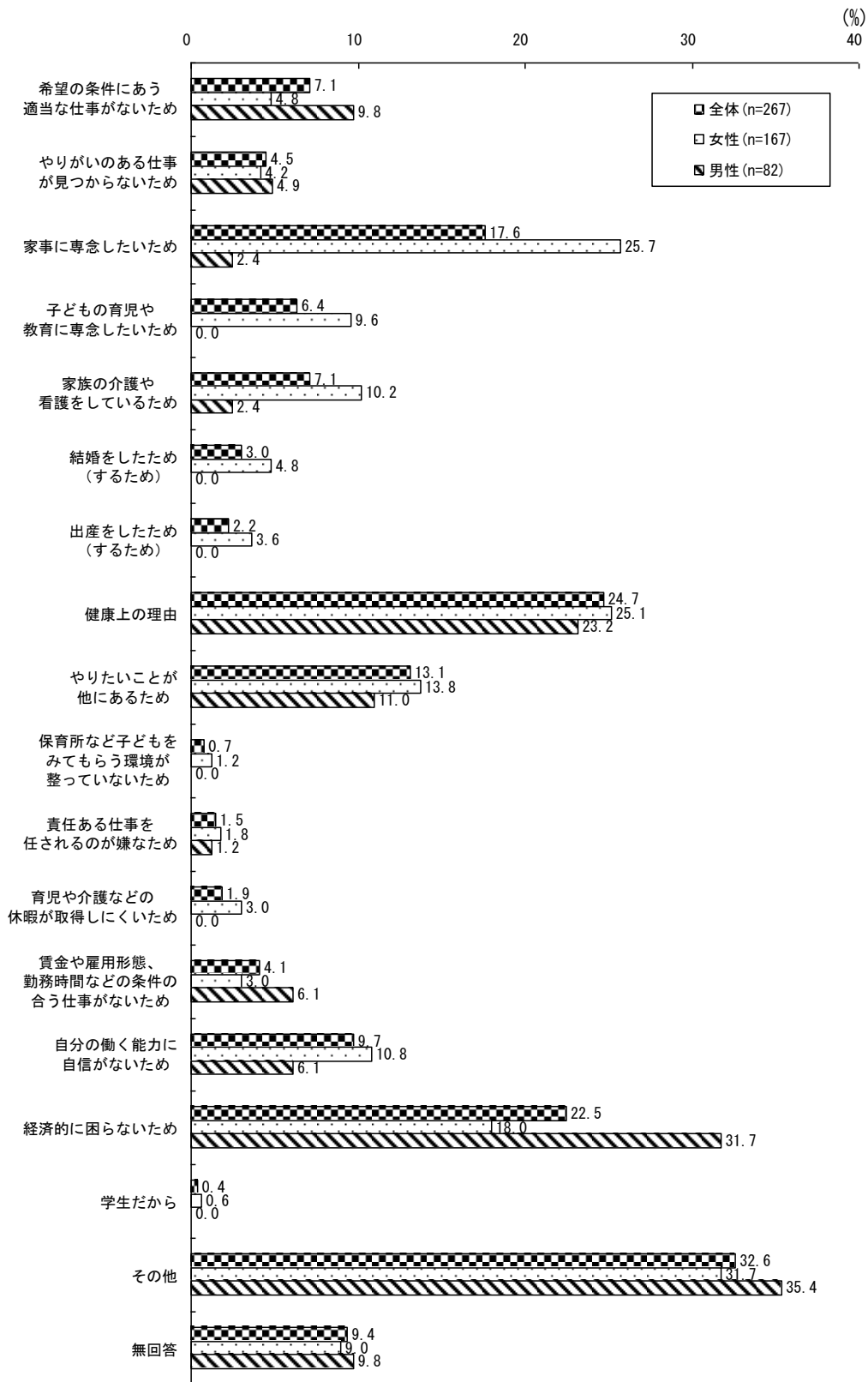
5. 働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由（問 59）

就労に対する今後の意向において「働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない」を選択した回答者を対象に、働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由についてみると、「その他」を除くと、「女性」は「家事に専念したいため」（25.7%）、「健康上の理由」（25.1）が他の項目と比較すると高くなっている。一方、「男性」は「経済的に困らないため」（31.7%）、「健康上の理由」（23.2%）となっており、性別による差異がみられる。

もっともあてはまる理由についてみると、「無回答」及び「その他」を除くと、男女とも「健康上の理由」が最も多くなっている（「女性」12.6%、「男性」17.1%）。

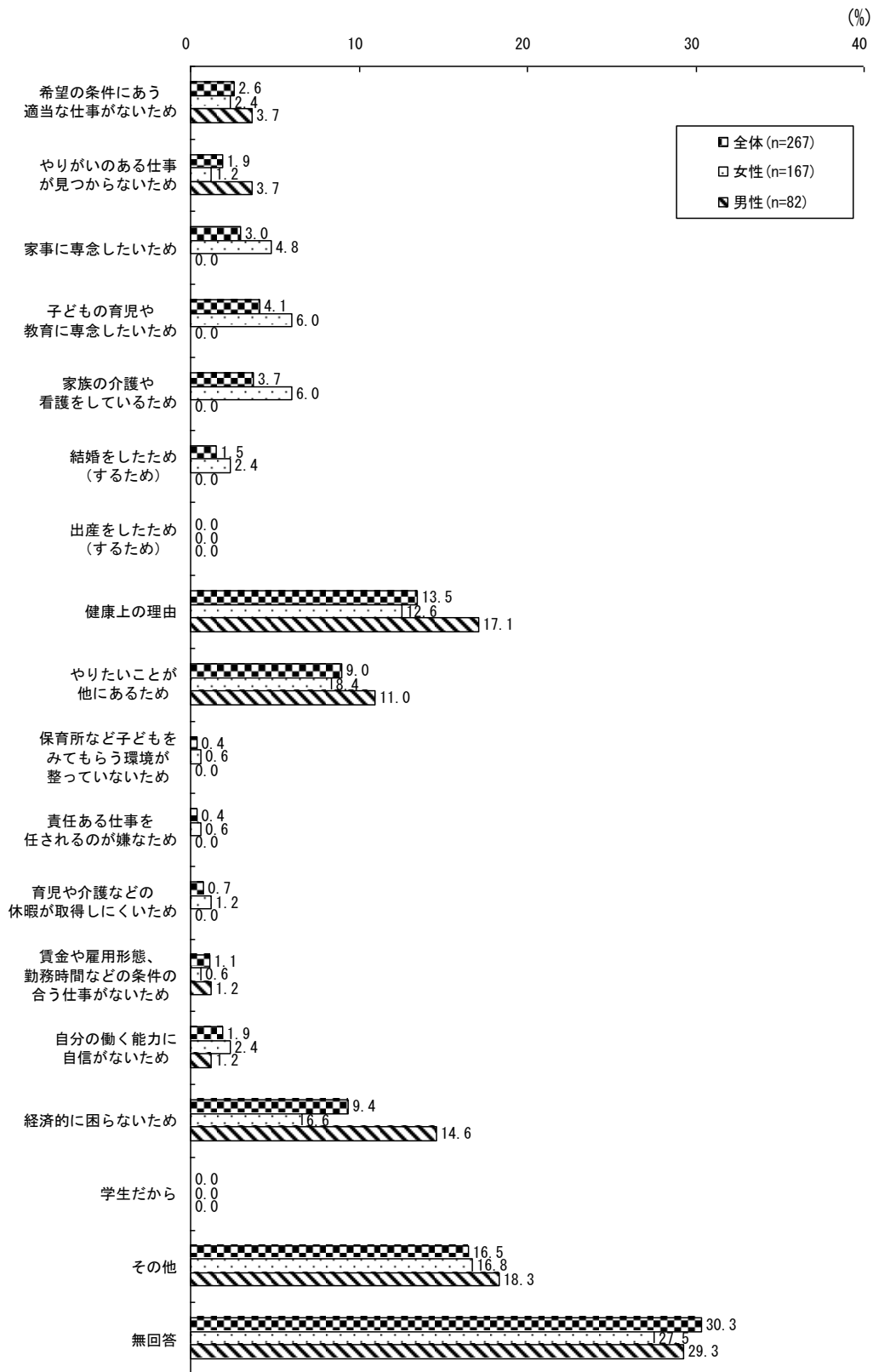
性・年齢別にみると、「男性」は多くの年齢層で「健康上の理由」の比率が高くなっているが、「女性」は「30歳未満」、「30歳代」、「40歳代」及び「50歳代」で「家事に専念したいため」の比率が高くなっており、性別による差異がみられる。

図表 8-11 働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由
（複数回答／いくつでも）



※問 56 で「働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない」を選択した回答者のみ

図表 8-12 働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由
（もつともあてはまる理由／単純回答）



※問 56 で「働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない」を選択した回答者のみ

図表 8-13 働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由

(性・年齢別、配偶者の有無別、子どもの有無別) (%)

		件数	希望の条件にあう適当な仕事がないため	やりがいのある仕事が見つからないため	家事に専念したいため	子どもの育児や教育に専念したいため	家族の介護や看護をしているため	結婚をしたため(するため)	出産をしたため(するため)	健康上の理由	やりたいことが他にあるため	いないため	保育所など子どもをみてもらう環境が整っていないため	責任ある仕事を任されるのが嫌なため	育児や介護などの休暇が取得しにくいいため	賃金や雇用形態、勤務時間などの条件の合う仕事がないため	自分の働く能力に自信がないため	経済的に困らないため	学生だから	その他
全 体		267	7.1	4.5	17.6	6.4	7.1	3.0	2.2	24.7	13.1	0.7	1.5	1.9	4.1	9.7	22.5	0.4	32.6	
性・ 年齢別	女性 全体	167	4.8	4.2	25.7	9.6	10.2	4.8	3.6	25.1	13.8	1.2	1.8	3.0	3.0	10.8	18.0	0.6	31.7	
	女性30 歳未満	8	25.0	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	
	女性30 歳代	15	13.3	0.0	40.0	26.7	0.0	6.7	20.0	20.0	26.7	6.7	0.0	13.3	0.0	13.3	13.3	0.0	6.7	
	女性40 歳代	12	16.7	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	16.7	
	女性50 歳代	21	0.0	0.0	52.4	9.5	33.3	0.0	0.0	38.1	14.3	0.0	9.5	4.8	0.0	19.0	38.1	0.0	9.5	
	女性60 歳代	52	1.9	5.8	19.2	3.8	15.4	9.6	1.9	26.9	11.5	0.0	1.9	0.0	1.9	11.5	17.3	0.0	26.9	
	女性70 歳以上	58	0.0	0.0	13.8	0.0	3.4	1.7	1.7	25.9	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	13.8	0.0	55.2	
	男性 全体	82	9.8	4.9	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	23.2	11.0	0.0	1.2	0.0	6.1	6.1	31.7	0.0	35.4	
	男性30 歳未満	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
	男性30 歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性40 歳代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性50 歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性60 歳代	35	17.1	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.9	11.4	0.0	2.9	0.0	5.7	8.6	42.9	0.0	31.4	
	男性70 歳以上	39	5.1	0.0	2.6	0.0	5.1	0.0	0.0	20.5	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	2.6	25.6	0.0	43.6	
配偶者の 有無別	有	194	6.7	3.6	20.1	7.2	8.8	3.6	2.6	24.2	12.9	0.5	1.5	2.1	3.6	8.8	24.2	0.0	30.4	
	無	41	4.9	9.8	12.2	4.9	4.9	2.4	2.4	26.8	14.6	2.4	0.0	0.0	4.9	9.8	22.0	2.4	36.6	
子どもの 有無別	いる	200	6.5	3.5	18.0	8.0	6.0	2.5	2.0	24.0	11.0	0.5	0.5	2.0	4.0	7.0	23.0	0.0	32.5	
	いない	54	11.1	9.3	18.5	1.9	13.0	1.9	1.9	31.5	22.2	1.9	5.6	1.9	5.6	22.2	22.2	1.9	29.6	

6. 女性が職業を持つことについての考え（問 60）

女性が職業を持つことについては、「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」が 40.2%、「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」が 35.0%であり、女性が結婚・出産の後も職業を持つことに肯定的な回答が 75.2%を占めている。これら以外の選択肢は、「結婚を機に退職し、後は職業を持たない」3.2%、「出産を機に退職し、後は職業を持たない」4.3%、「職業を持たないほうがよい」1.5%となっている。

性別では、「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」は「女性」34.6%、「男性」35.0%であり、ほぼ同じ割合である。しかし、「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」は「女性」42.9%、「男性」39.7%であり、「女性」が「男性」を、やや上回っている。

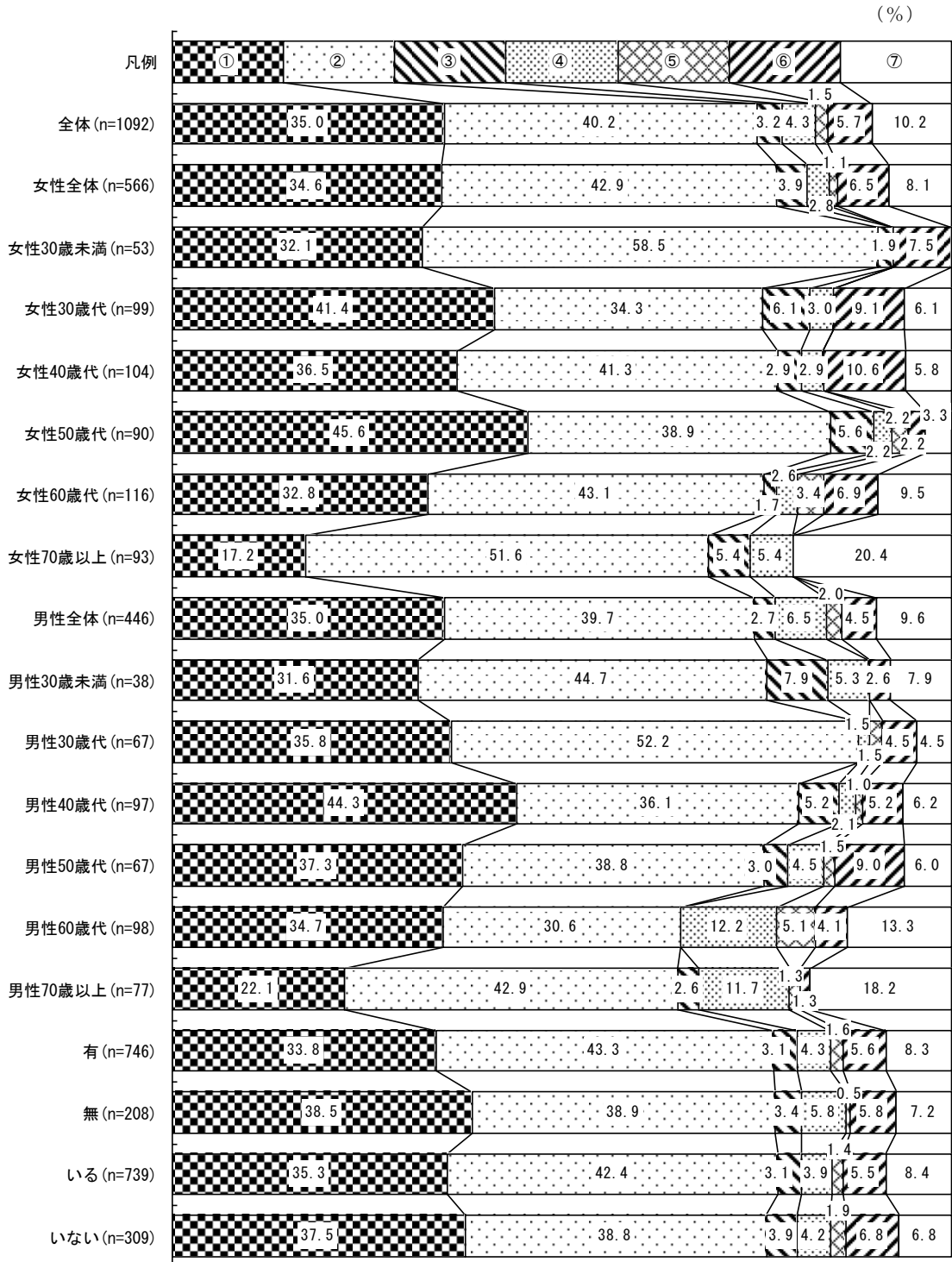
性・年齢別では、「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」が「女性」の「30歳未満」で 58.5%、「70歳以上」で 51.6%となっており、過半数を超えている。

配偶者の有無別では、「有」は「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」（43.3%）が「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」（33.8%）を 10 ポイント近く上回っているが、「無」は「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」（38.5%）、「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」（38.9%）が、ほぼ同じ割合である。

子どもの有無別においても、子どもが「いる」は「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」（42.4%）が「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」（35.3%）を 7.1 ポイント上回っているが、「いない」は「職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける」（37.5%）と「結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ」（38.8%）が、ほぼ同じ割合となっている。

- ①職業を持ち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける
- ②結婚や出産を機にいったん退職し、育児終了後再び職業を持つ
- ③結婚を機に退職し、後は職業を持たない
- ④出産を機に退職し、後は職業を持たない
- ⑤職業を持たないほうがよい
- ⑥その他
- ⑦無回答

図表 8-14 女性が仕事を持つことについての考え (単純回答)



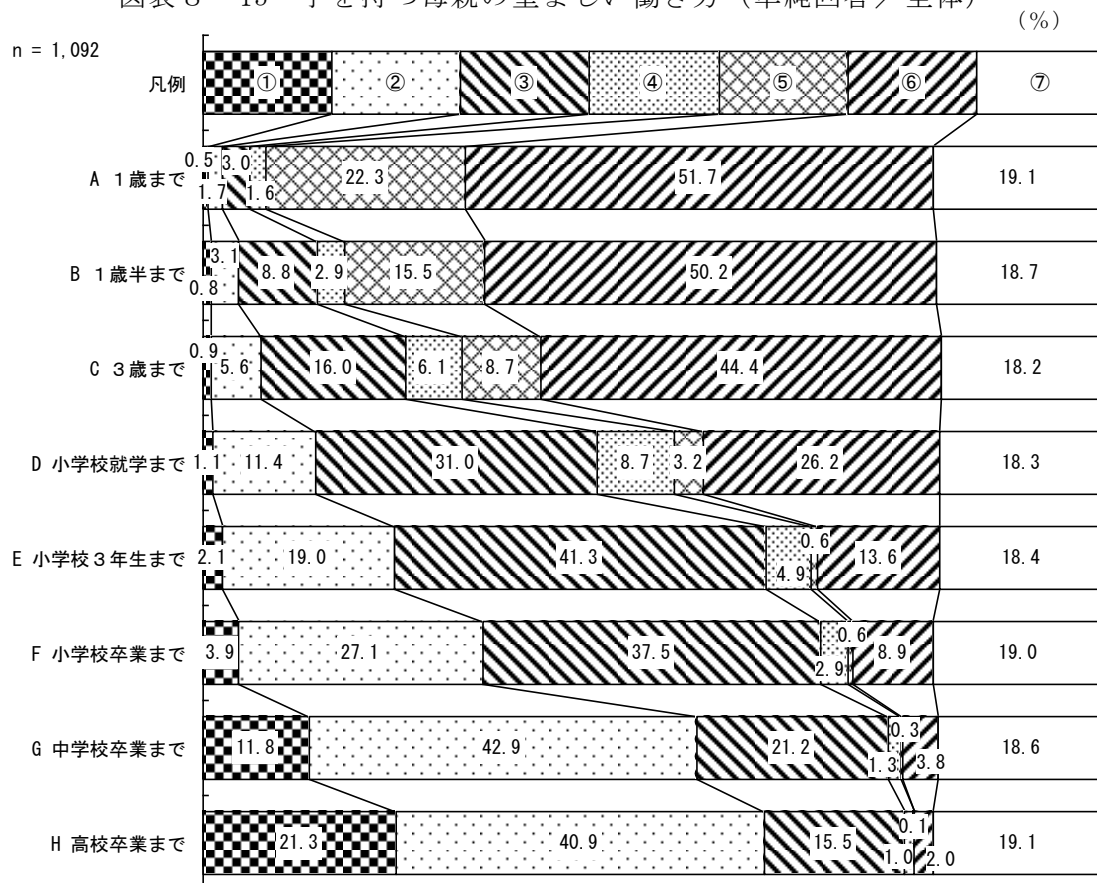
7. 子を持つ母親の望ましい働き方（問 61）

子を持つ母親の望ましい働き方についてみると、子どもの年齢が低いほど「育児休業」「子育てに専念」の割合が高くなっている傾向がうかがえる。一方、子どもの年齢が高くなるほど「フルタイム（残業のある働き方）」「フルタイム（残業のない働き方）」の割合が高くなっている。子どもが小学生の間は、「短時間勤務」が30～40%台（「小学校3年生まで」41.3%、「小学校卒業まで」37.5%）を占めている。

男女別にみても、同様の傾向であり、子どもの年齢が小さいほど「育児休業」「子育てに専念」の割合が高くなっており、子どもの年齢が高いほど「フルタイム（残業のある働き方）」「フルタイム（残業のない働き方）」の割合が高くなっている。

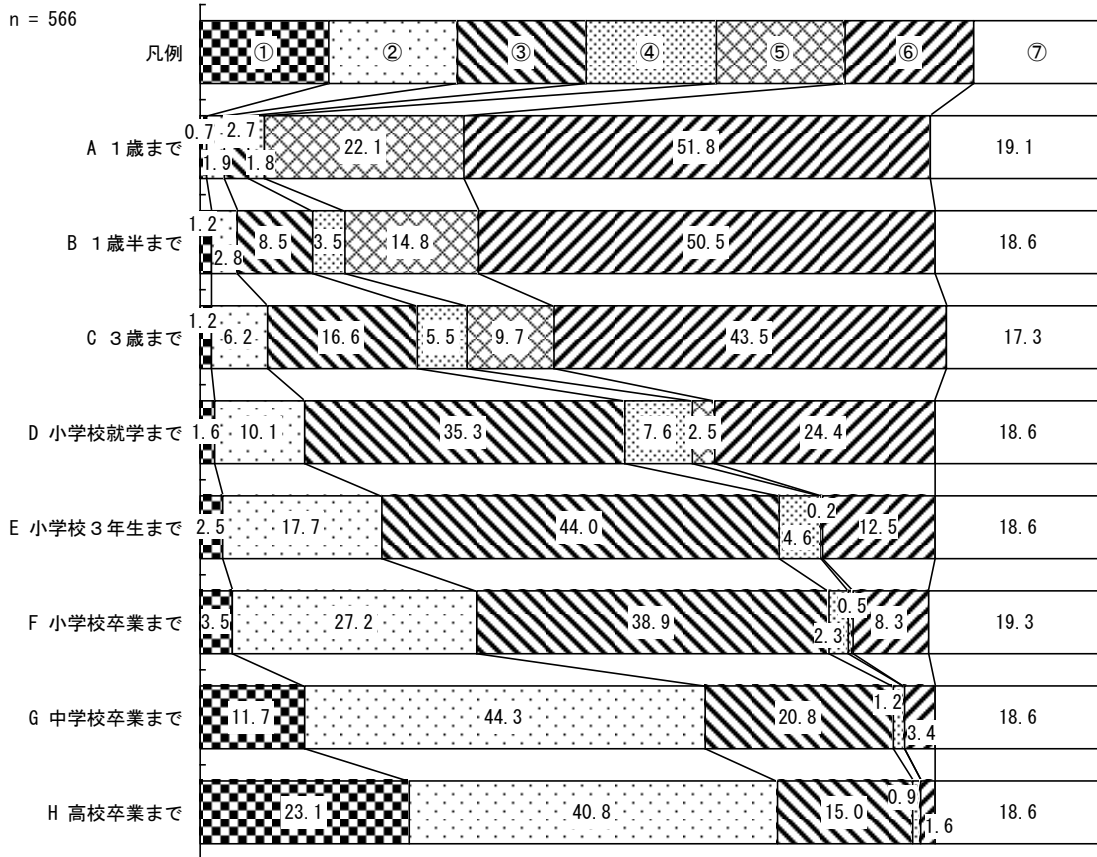
- | | |
|------------------|------------------|
| ①フルタイム（残業のある働き方） | ②フルタイム（残業のない働き方） |
| ③短時間勤務 | ④在宅勤務 |
| ⑤育児休業 | ⑥子育てに専念 |
| ⑦無回答 | |

図表 8-15 子を持つ母親の望ましい働き方（単純回答／全体）



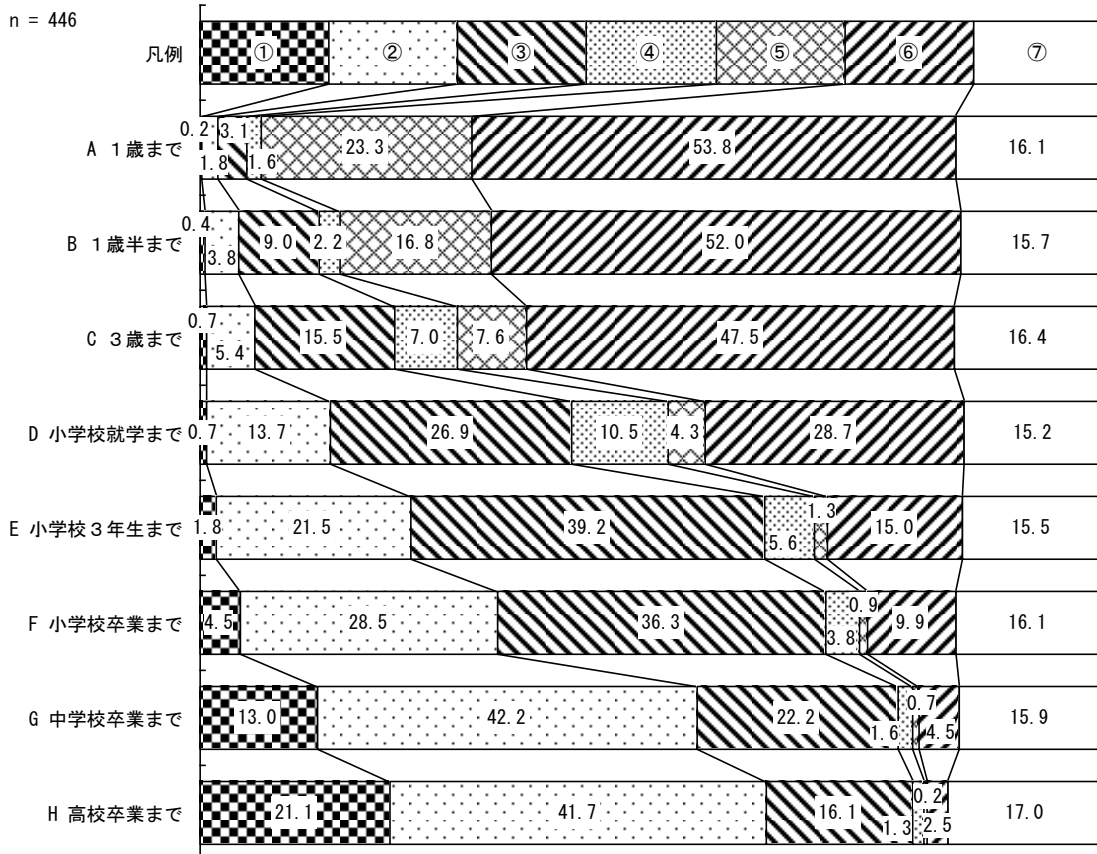
図表 8-16 子を持つ母親の望ましい働き方（単純回答／女性）

(%)



図表 8-17 子を持つ母親の望ましい働き方（単純回答／男性）

(%)



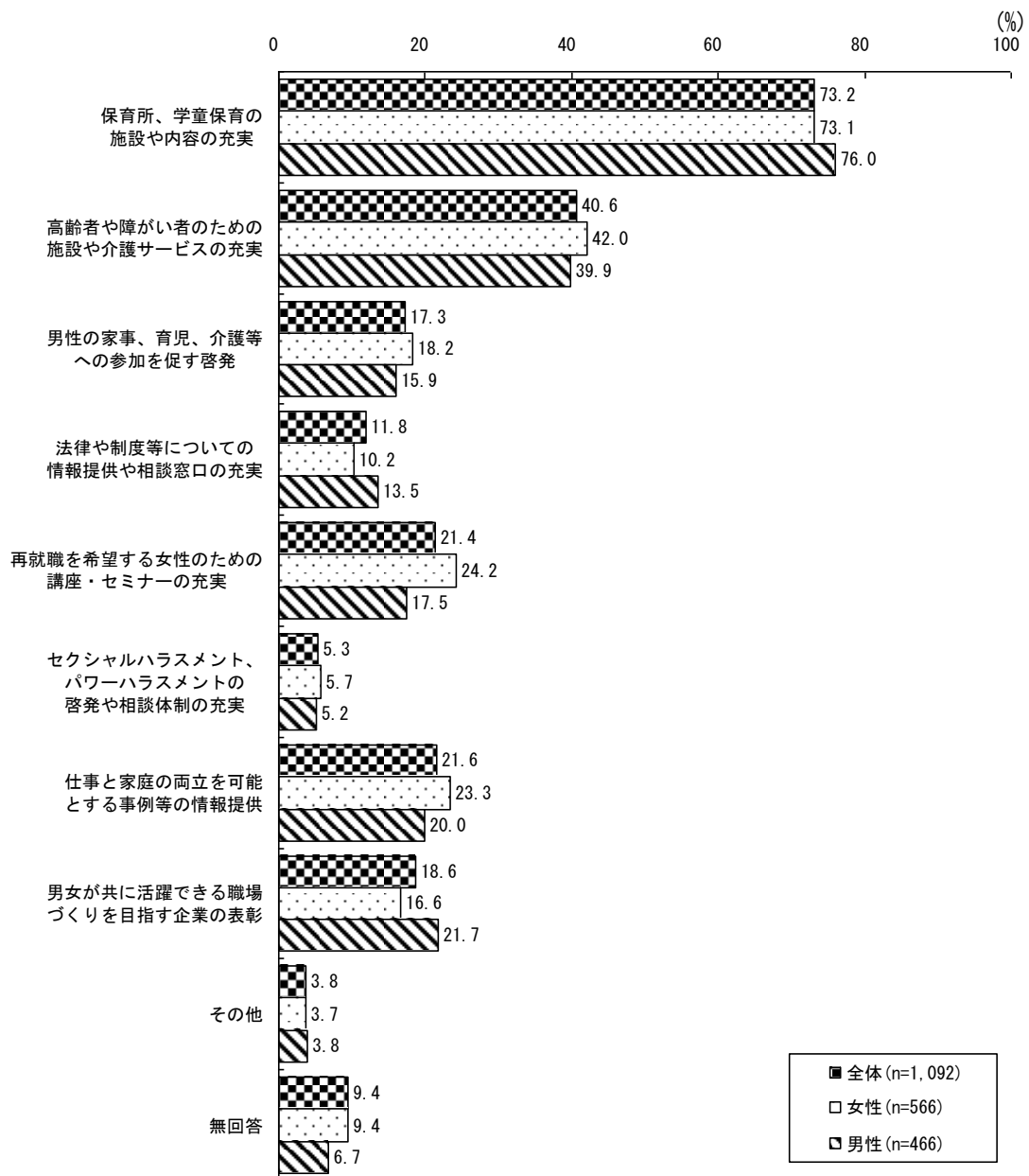
8. 男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、吹田市が進めるべき施策 (問 62)

男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、吹田市が進めるべき施策については、「保育所、学童保育の施設や内容の充実」が 73.2%を占めており、次いで、「高齢者や障がい者のための施設や介護サービスの充実」が 40.6%の順で続いている。

性別においても同様の傾向であり、「保育所、学童保育の施設や内容の充実」は「女性」73.1%、「男性」76.0%を占めており、「高齢者や障がい者のための施設や介護サービスの充実」は「女性」42.0%、「男性」39.9%となっている。

「再就職を希望する女性のための講座・セミナーの充実」「仕事と家庭の両立を可能とする事例等の情報提供」については、「女性」の方が「男性」よりも、やや高くなっている。

図表 8-18 男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、吹田市が進めるべき施策
(複数回答/いくつでも)



図表 8-19 男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、吹田市が進めるべき施策
(性・年齢別、配偶者の有無別、子どもの有無別) (%)

		件数	保育の充実	高齢者や障害者に対する施策の充実	男性の参加を促す啓発、介護等	法律や制度等についての充実	再就職を希望する女性の充実	ワークシェアリングの実施	仕事と家庭の両立を可能とする施策	男女が共に活躍できる職場	その他	無回答
全 体		1,092	73.2	40.6	17.3	11.8	21.4	5.3	21.6	18.6	3.8	9.4
性・年齢別	女性全体	566	73.1	42.0	18.2	10.2	24.2	5.7	23.3	16.6	3.7	9.4
	女性30歳未満	53	88.7	22.6	26.4	9.4	26.4	11.3	28.3	24.5	3.8	1.9
	女性30歳代	99	72.7	30.3	15.2	6.1	34.3	5.1	32.3	19.2	6.1	4.0
	女性40歳代	104	79.8	34.6	16.3	14.4	28.8	3.8	25.0	16.3	5.8	1.0
	女性50歳代	90	80.0	63.3	20.0	10.0	23.3	10.0	17.8	17.8	4.4	2.2
	女性60歳代	116	68.1	47.4	19.8	7.8	17.2	3.4	19.0	10.3	2.6	16.4
	女性70歳以上	93	55.9	48.4	16.1	12.9	16.1	4.3	20.4	17.2	0.0	26.9
	男性全体	446	76.0	39.9	15.9	13.5	17.5	5.2	20.0	21.7	3.8	6.7
	男性30歳未満	38	78.9	31.6	21.1	13.2	7.9	5.3	23.7	31.6	13.2	7.9
	男性30歳代	67	88.1	29.9	14.9	10.4	19.4	3.0	25.4	17.9	3.0	3.0
	男性40歳代	97	82.5	28.9	19.6	8.2	15.5	8.2	10.3	20.6	7.2	3.1
	男性50歳代	67	67.2	43.3	16.4	23.9	20.9	10.4	20.9	22.4	1.5	4.5
	男性60歳代	98	75.5	44.9	14.3	15.3	17.3	2.0	26.5	21.4	1.0	8.2
男性70歳以上	77	63.6	55.8	11.7	11.7	20.8	2.6	16.9	22.1	0.0	14.3	
配偶者の有無別	有	746	74.8	40.5	17.6	12.7	22.3	4.2	21.7	19.3	3.6	7.0
	無	208	76.4	44.7	15.4	8.2	20.2	10.1	21.6	19.2	4.8	9.1
子どもの有無別	いる	739	76.2	41.1	17.6	13.1	22.3	4.7	22.2	19.2	4.1	6.0
	いない	309	75.4	44.7	19.1	10.0	22.3	7.4	23.0	19.7	3.6	5.8

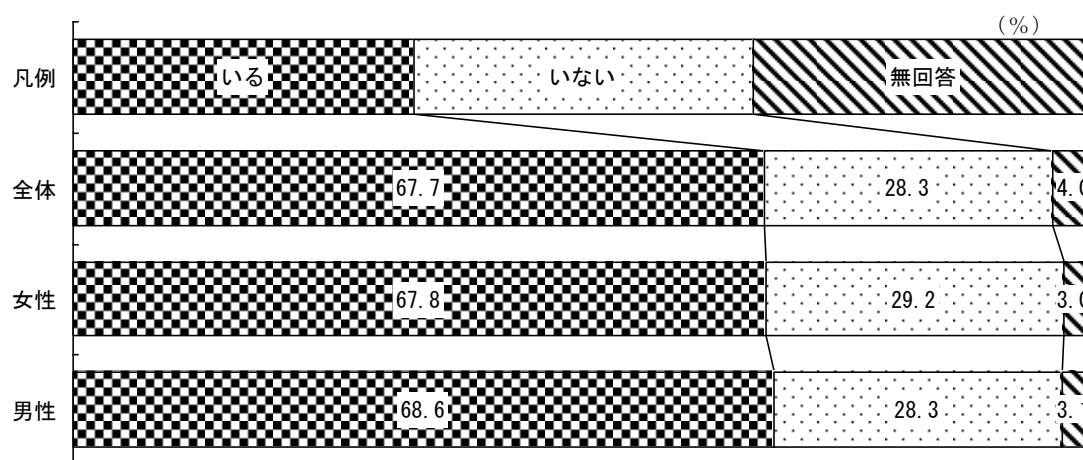
9. 子どもの有無（問 63）

回答者の子どもの有無についてみると、子どもが「いる」は 739 人（67.7%）であり、「いない」は 309 人（28.3%）となっている。性別では、「いる」は「女性」67.8%、「男性」68.6%であり、差異はみられない。

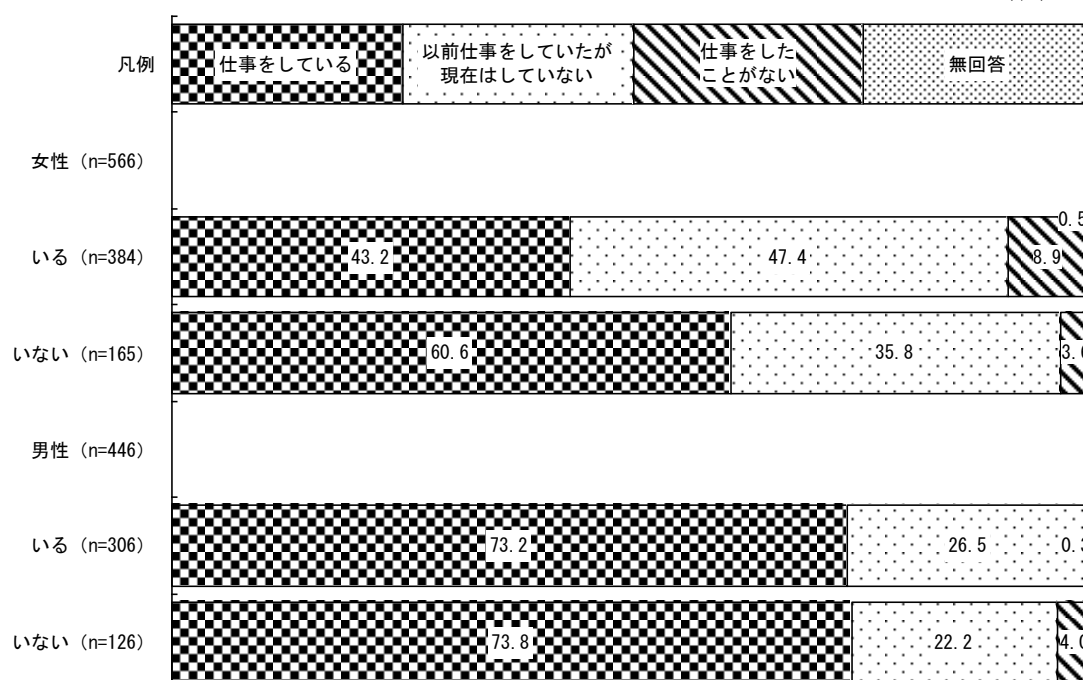
また、性別・仕事の有無別にみると、「女性」では、子どもが「いる」回答者のうち「仕事をしている」は 43.2%であり、子どもが「いない」回答者は 60.6%となっている。

一方、「男性」では、子どもが「いる」「いない」にかかわらず、「仕事をしている」が 70%を超えている。

図表 8-20 子どもの有無（単純回答／性別）



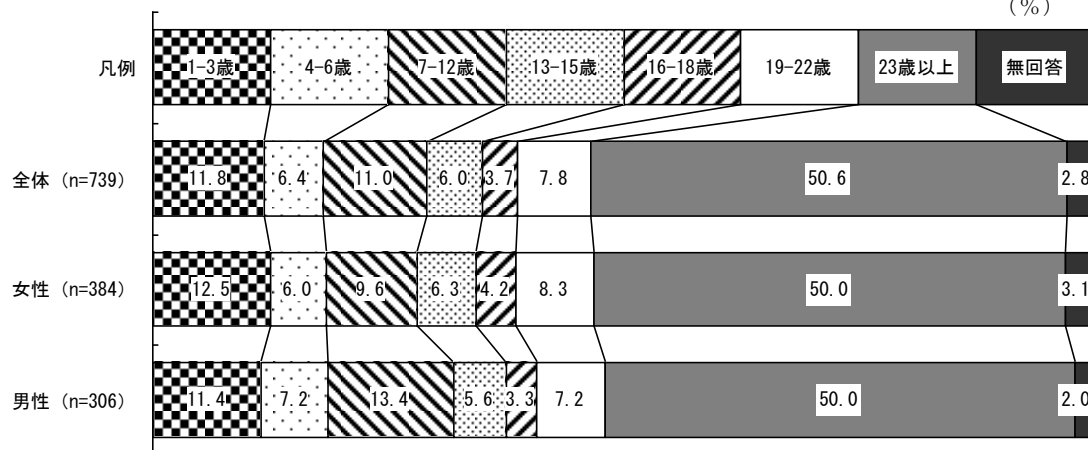
図表 8-21 子どもの有無（単純回答／性別・仕事の有無別）



10. 一番下の子どもの年齢（問 64）

子どもの有無について、子どもが「いる」を選択した回答者のうち、「23 歳以上」が 50.6%を占めており、半数を超えている。次いで、「1～3 歳未満」（11.8%）、「7～12 歳」（11.0%）の順となっている。性別では、「女性」「男性」とも、「23 歳以上」が 50.0%、「1～3 歳」が「女性」12.5%、「男性」11.4%である。

図表 8-22 一番下の子どもの年齢（単純回答／数値をカテゴリー化して集計）
（%）



また、性別・仕事の有無別にみると、「男性」は「23歳以上」を除いて各年齢層とも「仕事をしている」が90%を超えている。一方、「女性」は「7～12歳」(64.9%)、「13～15歳」(79.2%)、「16～18歳」(81.3%)、「19～22歳」(65.6%)が60%以上となっている。

図表8-23 一番下の子どもの年齢（仕事の有無別） (%)

